

企業の成長発展をサポートする  
日本経営者同友会



# 日本経営者新聞

発行所 (C)日本経営者新聞社

東京都千代田区神田錦町3-2

No.50 (通巻347号)

年間購読料 8400円

No.50(通巻第347号)

JAPAN PRESIDENTS JOURNAL

編集局 ☎03-5280-6222



ポール・マナフォート氏 Mr. Paul J. Manafort

## トランプ米大統領の前選対本部議長 ポール・マナフォート氏来日

昨年末、JEPA下地会長は、トランプ米大統領と親しく、前選対本部議長も務めたポール・マナフォート氏を招き、都内のレストランで歓迎会を開催した。

今回マナフォート氏は下地会長と長年親交のある国際ロビイスト及び韓国パーキンソン・グループを率いるトソン・パーク会長と共に訪日された。日本からは国会議員を代表して日本維新の会の下地衆議院議員が参加し、和やか且つ実りある夕食会となった。

### トランプ大統領の実像は？

席上マナフォート氏は、今や誰もが関心を持つトランプ大統領の実像について参加者に話された。マナフォート氏は約6カ月間、トランプ氏と共に大統領戦を戦った。その間、トランプ氏が連日朝7時から夜1時まで働いたタフガイであり、有能な指導者であるということの話された。

当初、世界中の多くの人はトランプ氏を単なる泡沫候補と見なしていた。絶対的な勝利者と目されていたヒラリー・クリントン候補が敗れた時、世界は、一体何が起きたのかと驚愕した。マナフォート氏はこうした疑問に対し、トランプ氏の勝利は当然だったとし、次のように話された。

### トランプ氏の勝因は？

TVパーソナリティを務めていたトランプ氏は、ジャーナリズムのメカニズムを熟知。得意のツイッターでの偽悪的な発言も、メディアはどのように反応するか冷徹な計算があつたとした。問題発言をする場合でも、核心的な言葉は避けていた。

一年間に及んだ選挙戦はまさにトランプ劇場であつた。敵対するクリントン氏の動きを把握し、先手先手で攻めたトランプ氏は軍でいえば將軍の役割を十二分にこなした。

トランプ氏はビジネスの経験はあるが、政治家としてのキャリアが無いことが欠点と言われるが、決して政治に無知ではない。それどころか、これ以上ないほどのリーダーシップを発揮し、人材の能力を的確に把握し適材適所に人を配置する能力に長けている。

### マナフォート氏これまで

マナフォート氏は弁護士であると同時に、これまで30年以上にわたり、ビジネス・政界及び国際問題分野で世界各国の政界候補者に戦略的なアドバイスを提供し、国際的政治外交のロビイストとして活躍されている。

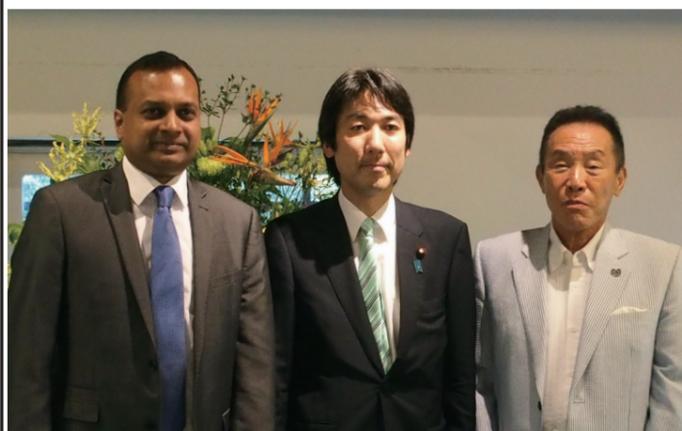
フォード大統領、レーガン大統領、ブッシュ大統領他、多数の州の共和党候補などの選挙活動を指揮、この度のトランプ大統領の選挙活動議長としても活躍された。



下地議員(右)と握手をするマナフォート氏



マナフォート氏(左から2人目)と夕食会参加者の方々



左からペレーラ大臣、城内議員、下地会長

夕食会では、マナフォート氏からトランプ大統領自身の能力が非常に高く、自己認識も的確で、閣僚の意見にしっかりと耳を傾け、良いとなれば直ぐに実行に移す人物であるという興味深い真相を伺った。

氏はコネチカットの出身でコネチカット州の弁護士会のメンバー。ジョージタウン大学で学士号を取得、ジョージタウン大学法学センターで行政の博士号を取得された。この度一緒に訪日されたパーク会長とは、ジョージタウン大学の先輩・後輩の間柄である。



左からマナフォート氏、徳田代表、下地会長



## スリランカ

### ペレーラ国家・経済担当大臣来日

2016年12月21日、同年8月に続いて、ニローシャン・ペレーラ大臣が訪日され、アセアン協会会長を務めるJEPA下地会長の主催で歓迎夕食会が都内のホテルで開かれた。アセアン協会役員はペレーラ大臣を含むスリランカ政府首脳陣と日本・スリランカ投資フォーラム等の開催に向けて、これまでも数回会談を行っており、この日の夕食会も和やかな充実したものとなった。

この日の午後、ペレーラ大臣は下地会長の提案・紹介により、永田町の議員会館に城内議員、下地議員をそれぞれ訪問し会談した。



歓迎夕食会に参加されたJEPA会員と共に

ペレーラ大臣は21日午後、岸信夫外務副大臣を訪ね、意見交換を行った。下記は外務省による会見の概要：

『本21日午後15時30分から約20分間、岸信夫外務副大臣は、訪日中のニローシャン・ペレーラ・スリランカ民主社会主義共和国国家政策・経済担当国务大臣と意見交換を行った。概要以下のとおり。』

岸副大臣から、インド洋の要衝であるスリランカとの関係を一貫して重視しており、日・スリランカ両国の伝統的友好関係を更に具体的に進展させていきたい旨、特に、両国間の貿易・投資の一層拡大や、スリランカ経済発展と雇用の拡大に日本企業が協力できる余地は大きく、インフラ整備や投資環境の改善に協力したい旨述べました。』



岸外務副大臣(右)とペレーラ大臣



# 新時代を切り拓き、企業の発展に貢献する経済団体です。

## 西陣織

### ベビーシューズの贈呈について



皇子に贈られたベビーシューズ

tsutaeru 尾田美和子

近年、ブータン王国は世界中で注目されています。日本では第5代国王夫妻の来日をきっかけにブータン旋風がおこり、強い印象を与えるご夫妻の装束は織物文化を象徴する素敵な装いとして印象的でした。

私は西陣織の研究を行っていることから西陣織を新しいカタチに新しい価値として提案する活動しています。親日性が高く織物文化に精通するブータン王国に西陣織を知っていただき、織物を通じた文化や技術交流ができればと思っています。

2016年2月7日に第5代国王夫妻に皇子が誕生しました。私は皇子に相応しいお品を贈呈したいと考え西陣織で作ったベビーシューズを作りました。

「心の中に龍を育てる王国」の皇子に相応しい力強い龍を画家の塩谷栄一先生に描いて頂き、ベビーシューズの生地は金糸をふんだんに使用した華やかな西陣織にしました。

2016年12月22日、在東京ブータン王国名誉総領事徳田ひとみ様のご配慮のもと、在インド・ブータン王国ナムゲル大使にお渡しさせていただきました。ナムゲル大使は西陣織やベビーシューズメーカーの職人の画像を熱心にご覧になり、一方でブータン王国の織物についてお話しなさるなど、とても有益な時間を過ごすことができました。

王国の皆様には文化的交流だけでなく技術的交流も視野に入れた国際交流を望むとともに日本国民も自国の伝統文化や技術について再認識していただくきっかけになれば幸いです。

在インド・ブータン王国大使館より

# ナムゲル大使来日

ブータン王国皇子へ 龍の絵柄の西陣織ベビーシューズを贈呈



贈られたベビーシューズを持つナムゲル大使(中央)と西陣織研究者・尾田美和子さん(左)と徳田ブータン名誉総領事

昨年12月21日、ナムゲル駐インド・ブータン大使が12月23日の天皇誕生日茶会出席のため来日された。

22日午前、ナムゲル大使は徳田ブータン名誉総領事の案内で、tsutaeru代表の尾田美和子さんと会談した。尾田さんは、昨年2月に誕生されたブータン皇子への贈り物として西陣織で作られたベビーシューズをナムゲル大使に託された。

香川県高松市で、西陣織や伝統工芸品の技術を使用した製品をプロデュースするtsutaeruを立ち上げた尾田さんは、日本の伝統文化や優れた技術を広く国際交流、技術交流にも役立てたいと願っている。

## ブータン経済省次官来日



夕食会会場でワンディ次官一行と徳田名誉総領事

1月23日、ブータン経済省からイェシ・ワンディ経済省次官を始めとする4名の経済省高官が日本外務省の招へいプログラムの対象者として訪日された。  
23日夕、徳田ブータン名誉総領事は日本レストランで歓迎夕食会を開催し、ブータンの経済状況やこれからの経済発展について意見交換を行った。  
翌日からワンディ次官一行は外務省南西アジア課総務班のエスコートで、日本の大手企業、JICA、JETROなどを訪問、今回はまた、京都府、大分県も訪問され、日本の産業などを視察された。  
今回のワンディ次官一行の主な関心事項は、「一村一品運動」「環境に配慮した産業」「再生可能エネルギー」等があり、訪問先では多くの質問をするなど興味を持たれた。

## 奨学金問題を考える

昨年暮れ、麹町のエデュカス東京(全国教育文化会館)にて、銀行の貸し手責任を問う会主催で、『奨学金返済問題を考える「奨学金借りたら返せ」か?』が開かれた。



事務局長の椎名麻紗枝弁護士は、奨学金制度は、給付型でなく貸与であることが問題であり、現在、多くの学生が奨学金返済に苦しみ、その返済を免れるため自己破産しているケースが増大していることを知り、社会に出る時に重くのしかかる奨学金という借金を、「借りたら返せ」というだけでなく、なんとかしたいという思いでこの集会を開いたと挨拶した。

まず、最初の発言者は、奨学金の返済に滞り、教員の夢をあきらめた静岡県内の30才女性。奨学金返済の督促に苦しみ、現在も働きながら奨学金の返済をし、学ぶために借りた奨学金が、生活を圧迫している状況について語った。

親に資力が無いことから、奨学金を利用せざるを得ず、自宅と大学が通学に2時間ほどかかることから、勉学のために消費者金融からも借り入れをして、アパートを借りて一人暮らしをはじめたが、次第に返済が困難になり自己破産をすすめられた。

しかし、以前両親がすでに自己破産しているのを経験していたため、自己破産だけは自分は絶対にしたくないと思っていたので、教員の夢をあきらめて、働いて返す道を選んだ。

現在、月曜から金曜までフルタイムで働き、土日はアルバイトをして返済を続けている。督促は留保してもらっているが、期限が来れば、また厳しい督促を受ける毎日が始まる。唯一の救いは、婚約者ができて近々結婚が決まったことだが、奨学金返済の重圧は続く。

和光大学教授の竹信三恵子先生からは、1980年くらいから高額化してきた学費の引き上げ、より良い就職を得るために大学からは出ないといけないという高い進学率と、あわせて、学費の重い負担にあえぐ学生の状況が語られた。

奨学金で間に合わない学費・生活費はアルバイトをしないことには難しい現状、また、アルバイトは、雇用先の都合に合わせてもらえず、ブラックバイトなどに関わった学生は、シフトの関係で勉学に集中することが出来なくなり単位を落とすこともあるなど、学業に専念できない学生の事情や、先の見えない就職、学費返済のために、将来を不安に感じている大学生の現状を語り、奨学金制度・税制度の見直しと、給付型奨学金の必要性を訴えた。

また、生活の厳しい学生を勧誘する自衛隊募集の案内を、大学内に多く見受けられることにも危惧を感じると語った。

## 奨学金が生み出すワーキングプア

社会に出る前に何百万円もの借金を背負わされるというのがおかしくないか!

ジャーナリスト山田厚史氏は、黒田金融政策と奨学金問題を取り上げ、黒田金融政策のマイナス金利の仕組みや、金融機関の対象が、企業から個人にシフトして、学生も、奨学金＝教育ローンという借金で、金融機関のターゲットとなっている現実を語った。

ヨーロッパでは、学費が無料であったり、アメリカでは、財団の給付型奨学金もある、なのに日本には十分な予算がとられていない。国の予算で、軍事費、防衛費に何兆円もかけるのではなく、教育にもっと力を入れるべきと語った。また、昭和と平成では、親の収入が伸びないにもかかわらず、奨学金など学費支払いの比率が大きくなって、まったく異なるとも語った。

これからの若者が社会に出る時に、多大な借金を背負うのではなく、国のためにも、これから社会に出る若者が生きやすい世の中にしていくために、教育資金を国会予算で捻出することの必要性、経済、奨学金の仕組みを変えていく必要性を強く訴えた。



椎名麻紗枝弁護士



「奨学金問題を考える会」の様子

『本会は、日本とASEAN諸国との相互の文化的理解を基盤として、経済的社会的発展と国民相互の友好協力に貢献することを目的とする』



本部：東京都千代田区神田錦町3-2  
電話(03)5280-6123

### アセアン加盟国

- インドネシア
- マレーシア
- フィリピン
- シンガポール
- タイ
- ブルネイ
- ベトナム
- ラオス
- ミャンマー
- カンボジア
- 日本
- 中国
- 韓国

### 活動内容

- ネットワーク・サービス
  - アセアン各国諸機関とのネットワーク
  - 国際交流に関する支援活動
- ビジネス・サポート
  - 企画・開発業務等に関するサポート
  - 海外進出・合併企業等に関するサポート
- 教育・研修・研究活動
  - 国際会議・シンポジウムの開催
  - 海外視察団派遣
- 出版活動
  - アセアン時事ニュースの発行
  - 政治・経済・文化資料の提供



# 新時代を切り拓き、企業の発展に貢献する経済団体です。

普及率わずか5%?!  
マイナンバーに  
住基カードの悪夢再び...

政府が作成したマイナンバー制度利用推進ロードマップには、国民への交付枚数の目安として「16年3月末・1000万枚」→19年・8700万枚」と記されているが、現状はどうか？  
「16年7月上旬時点で636万枚です」(総務省住民制度課の担当者)

交付枚数が少ないのは、国が運用するマイナンバーの管理システムに不具合が出て交付枚数を制限せざるを得なかったことや「制度への不信感」、「利便性が感じられない」などの理由で国民からの申請そのものが低調になっていることが影響しているとみられる。

総務省は今、「ワンカード化の促進」を目指しているらしい。簡潔にいうと、財布に入っている様々なカードをマイナンバーカードにひとまとめにしようという試みなのだが、すでに国家公務員の身分証との一本化が形になっている。

健康保険証とマイナンバーカードの統合は2年後(18年)の実現に向けて厚労省が検討しており、免許証についても内閣官房が警察庁と話を進めている最中らしい。

極めつきはポイントカードとの一本化。「今夏をメドに技術的な課題を検討し、来春以降の実現を目指す」と高市早苗総務相も躍起になっている。Tカードや楽天カードなど利用者が多いポイントカードとの統合も視野に「民間事業者さんとの協力次第ではございますが、今まさに省内で制度設計を進めているところ」(前出・総務省担当者)だそう。

国民の知らないところで粛々と進められているマイナンバーカードの用途拡大。だが、それが本当に実現するかどうかは、カード自体が国民にどれだけ普及するかにかかっているといえる。先日、全国の自治体職員が200人ほど集まる大きな会合があり、司会者が壇上から「マイナンバーカードを持っている人は挙手してください」と聞いてみると、手を挙げた人は1割もいなかったという話もある。多くの自治体職員は申請すらしていないというのだ。

マイナンバーカードを実際に利用する国民と、現場で支える自治体を置いてきぼりにしたまま、用途拡大に突っ走る政府と関係省庁。今のままだとマイナンバーは住基カードの二の舞になる可能性が高い。やはり、しばらく様子を見るべきか？  
(週プレNEWS編集部より)

## 中小企業白書で紹介された企業の業績アップ成功例

コーシャ認証取得により日本酒の海外輸出を強化することで業績を向上させている企業

— 2016年中小企業白書より 事例 2-3-3

**岩手県二戸市の株式会社南部美人**(従業員30名、資本金2,000万円)は、1902年創業(創業100年超)、地元の清流の水を使って清酒を製造している老舗企業である。

日本酒の国内需要が飽和状態であり、若年層を中心として日本酒離れが進み、年々業績も落ち込む中で、同社の五代目の久慈浩介社長は、高校時代に米国に留学した経験から、日本酒の海外輸出により外需を獲得することを決意。日本酒の海外輸出を志す酒造業者を集め、海外での日本酒の普及と日本酒の国際化を支援する任意団体「日本酒輸出協会」を発足させ、セミナーや試飲会の開催といった日本酒の輸出に向けた活動を積極的に行った。また、海外での活動当初は、現地で営業活動を行う際の言葉の壁が大きく、商談の際に自社商品の優位性や製造工程を説明するのに苦慮したが、海外コーディネーターが同行営業を行うことで言葉の壁を克服し、日本酒の海外輸出を本格的に開始することができた。

輸出を開始した当時は、4合瓶12本、一升瓶6本だけという少量の出荷であったが、販売先に何度も足を運び、営業活動を強化し、さらに英語のネーミング「サザンビューティー」を付け、ラベルも英語表記にするなど日本酒に対する理解を深めるための取組を続けた結果、徐々に認知度、輸出販売先が増加していった。

さらに、2013年には、ユダヤ教の教義に厳格に従った安全な食品であるという証である「**コーシャ**」の認証を同社の日本酒と糖類無添加梅酒で同時に取得、商品の高付加価値化に成功。1997年に輸出を開始後、米国において徐々に販売量を増やしていったが、海外では日本料理店等の限られた場所ではしか日本酒は販売されておらず、一般のお客様の目に留まる機会が少ないことが分かった。また、最近の米国では、このコーシャ認証を受けた商品が、スーパーマーケットの商品の30%程度を占めるほど普及しており、さらに「安全で健康的なイメージが高い」という理由から、ユダヤ教徒やユダヤ人だけではなく米国の消費者がコーシャ食品を購入しており、さらに日本酒ではほとんどこのコーシャ認証が取得されていないことも分かった。

このことから、他社との差別化を行い、販路を拡大して輸出量、売上を拡大できると考え、コーシャ認証の取得を決意した。コーシャ認証取得のためには、生産工程、保管倉庫等の詳細確認、現場でのコーシャ認証取得商品と取得していない商品との原材料の混在の有無等、原材料の受入から製品の出荷までの各工程の確認作業が必要となりコストも時間もかかったが、コーシャ認証取得により、認知度とともに販売数も増加し、2014年の海外向け売上高は対前年比1.2倍を達成した。

同社が輸出に成功した要因としては、海外展開を行うにあたり久慈社長が自身で考えていた海外展開の目的、ビジョンを全社員に明示、周知した上で、素早く意思決定を行い、全社員が一丸となって海外展開に取り組んだためである。また、海外事業を軌道に乗せるために、久慈社長がメインになって舵をとり海外事業に注力し、他方で国内の事業がおろそかにならないように、周囲がサポートする体制をとったことも成功要因の一つである。

コーシャ認証取得により、今まで輸出できなかったイスラエル、北欧、東欧等にも今後輸出開始予定であり、更なる業績の拡大が見込まれる。久慈社長は、「**世界基準の安心安全の証明**であるコーシャの認証を日本酒とリキュールで受けた会社として、日本の伝統文化の素晴らしさを今後も世界へしっかりと伝えていきたい。」と力強く語っている。



米国でのユダヤ人との試飲会の様子(中央が久慈社長)



コーシャの認証書

コーシャ認定を受けた食品、調味料、サプリメントはどれもユダヤ人が口に安全なもの、ユダヤ教義に従ったものというのみならず、全世界の人々が、食の安全が問題になっている現在、口に安全なものという意味合いで迎えられている。

「お客様の悩みを解決する」という意識の統一により海外需要の獲得に成功した企業

— 2016年中小企業白書より 事例 2-3-5

**三重県四日市市の株式会社スエヒロEPM**(イー・ピー・エム)(従業員43名、資本金4,000万円)は1953年に創業以来、食用油の搾油機や食品加工機械等の設計製造を行っている企業である。現在搾油機の国内シェアはほぼ100%であり、インドネシア、韓国をはじめ世界18か国へ輸出も行っている。

同社は1953年、現会長である佐久間裕之氏の父、佐久間仁氏が搾油機の修理を行う会社として創業した。当時、搾油機はドイツ、米国等の外国製のものがほとんどであり、故障も多く、さらに故障の際には部品を取り寄せるのに時間がかかるため、多くの国内メーカーは悩みを抱えていた。

同社は、国内の取引先の悩みを解決するために、自社での開発を開始、1959年に国内初の食用油用搾油機の開発に成功した。1966年に佐久間仁氏が逝去した後に、同社の佐久間会長が27歳の若さで入社。佐久間会長は、常に相手の立場に立ち、お客様の悩みが何かを考え、自社の製品でなく自分を売り込むことで、取引先との信頼関係を構築していき、国内の取引先を徐々に開拓していった。

また、1975年には搾油機の技術を活用することで加圧押出成形機(粉砕、混合、加熱、殺菌等を短期間で同時に行う機械)の開発に成功、国内シェアを更に拡大していった。

国内取引先の海外進出(海外の現地法人設立等)にあわせて、同社の機械が海外工場で活用されることにより、同社の製品の品質の高さ・優位性が海外の現地メーカーにも広まっていき、国内取引先の海外拠点を通すことで1984年には輸出も開始した。輸出に伴う関税等の問題や現地取引先との言語の問題等は、全て取引先が同社に代わって行ってくれたために、スムーズに輸出も行うことができた。過去に一度、商社を通した間接輸出によって多額の負債を被ってしまった経験から、**現在はほとんどの輸出を、商社を介さない直接取引で行っている。**

また、為替変動のリスクについても、全ての取引を円建てで行うことでリスクを最小限に抑えることができていた。さら語学に堪能な人材を1名海外専任人材として社内置き、海外出張を通して海外のニーズや情報を収集することで、販路開拓にも努めている。

このように、同社は「**お客様の悩みの解決のため**という創業時の精神のもとで、お客様と一緒に共同開発・共同研究を行い、悩みの解決に努めることで、国内外の取引先の信頼を獲得し、輸出を通して海外の需要を獲得することで業績を伸ばすことができていた。

同社の佐久間会長は、「国内のみならず輸出による海外の取引先を開拓し、業績を伸ばすことができていても、まず、海外展開をはじめとした私の考えるビジョンを月1回の役員会で社長やほかの取締役と共有・明確にするとともに、月1回発行する社内新聞での私のメッセージを通して、全社員に対しても周知することで、全社で展開への意識を統一させているからである。

そして何よりも、海外のお客様の悩みが何かを考え、海外専任の社員が持つ海外のニーズ・情報も活用しながら、悩みを解決できる製品の開発・設計を行っているからであると力強く語っている。



製品出荷時の同社の集合写真



# 新時代を切り拓き、企業の発展に貢献する経済団体です。

## 近年発売された主な高額薬剤

薬価は体重50kgの患者の場合

発売時期	薬剤名	1日あたり薬価	適応症
2014年4月	カドサイラ	約2万円	乳がん
9月	オブジーボ	約3万4千円 ~7万8千円	肺がん、皮膚がんなど
15年5月	ソバルディ	約4万2千円	C型肝炎
9月	ハーボニー	約5万4千円	C型肝炎
16年4月	レパーサ	約1600円 ~2400円	高コレステロール血症

# がん新薬

小野薬品工業が開発したオブジーボは、がん細胞が持つ免疫機能のブレーキを外して、人間の身体が本来持っている、がん細胞を叩く力を発揮させる薬だ。

患者1人で年間約3500万円かかる新型のがん治療薬オブジーボの薬価が、緊急的に50%引き下げられることが決まった。製薬技術の進歩で、高価な薬は今後も増え続ける見通し。医療保険財政の厳しさが増すなか、政府は薬価制度の抜本的な見直しに着手する。

オブジーボの値下げは、16日の中央社会保険医療協議会(中医協=厚生労働相の諮問機関)の総会で了承された。対象となる患者が大幅に拡大し、販売額は2015年度決算の212億円が16年度見込みで1260億円と急増。薬価の改定は本来2年に1度で次回は18年4月だが、「高すぎる」という批判から来年2月に特例で値下げされる。



## 高額抗がん剤オブジーボ 50%値下げ決定 来年2月

オブジーボのような生物由来の原材料を使ったバイオ医薬品など高額な薬剤の発売は近年、相次いでいる。高額な薬を使っても患者の自己負担には毎月の上限額(一般的な所得がある患者で月約4万4千円)が定められているため、公費や保険料の負担が増え続ける構図になっている。

そこで政府は、随時値下げできる恒久的なルールづくりに着手する。菅義偉官房長官は16日の記者会見で「市場規模が拡大するような事態にも対応できるような薬価算定ルールの見直しを行う」と表明。厚労省は、使える病気が広がって販売額が急増した薬について、その都度値下げする仕組みなどを検討する。

「オブジーボ」の値下げが決定した新型のがん治療薬



### 【企業様 広告欄】

広告掲載をご希望の企業様は日本経営者同友会までご連絡を頂きますようお願いいたします。

**琉球泡盛 久米仙**

沖繩の歴史と文化に育まれ、受け継がれてきた銘酒琉球泡盛

久米仙酒造株式会社 URL: <http://www.kumesen.co.jp/>

東京支店 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-16 報徳ビル4F TEL: 03-3291-7771 FAX: 03-3291-7772  
本社・工場 〒902-0074 沖縄県那覇市字井井155番地 TEL: 098-832-3133 FAX: 098-854-1759

犯罪の被害にあった  
たいせつなひとを失った  
それはとても辛く悲しいことです

私たちが被害者支援都民センターは  
犯罪被害にあわれた方の  
刑事手続きや心理的回復の  
お手伝いをしています

いままでの生活を取り戻し  
一歩を踏み出せるように  
ともに寄り添う  
支えになります

一人で苦しまないで  
安心してご相談ください

東京都公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体 東京都総合相談窓口

公益社団法人  
**被害者支援都民センター**  
Victim Support Center of Tokyo

電話相談 \*相談者の秘密は守られます  
**03-5287-3336**

月・木・金 午前9:30~午後5:30  
火・水 午前9:30~午後7:00  
(祝日・年末年始を除く)

相談・支援 **無料**

<http://www.shien.or.jp> 都民センター 検索

当センターでは、賛助会員・ご寄附を募集しております。皆さまの温かいご支援をお待ちしております。

事務局 03-5287-3338

快適で安全な暮らしのために。

私たちフルタイムシステムは、フルタイムロッカーという宅配ロッカーを創り続けて31年になりました。宅配ロッカーとは、マンション居住者の不在時に届く宅配便を24時間いつでも受け取れるように保管しておくロッカーです。これからは、多くのみなさんに、便利で快適なライフスタイルをお届けするため、業界のハイエンドなパナールとして、マンションはもちろん、オフィス、戸建て住宅サービスの開発と提供を続けてまいります。

5月1日(当社創立日)は宅配ボックスの日です。

**フルタイムロッカー**

信頼と安心の実績。  
マンション宅配ロッカー設置台数  
**業界NO.1 世界トップシェア**

全国宅配ロッカー台数 **24,000台**

株式会社フルタイムシステム <http://www.fts.co.jp>

TEL: 03-6261-0321  
TEL: 03-6261-0967  
TEL: 03-6261-8630  
TEL: 03-6261-3491



## 日本経営者同友会は、新時代を切り拓き、企業の発展に貢献する経済団体です

### ■ご挨拶

企業を取り巻く環境が目まぐるしく変化する今日、その変化への迅速な対応が企業経営者の最大の課題と言えます。こうした状況の中で、中小企業経営者たちは自らを守りぬぐために、本質的な情報や真に価値ある知識によって、新しい事態に生き抜く方策を見出し、即時実現していかなければなりません。経営者同友会は、国際的な視野を持ち、国内外のシンクタンクと共に常に最新情報が入手できる人脈ネットワーク作りをしており、そのネットワークを活用することで、より多くのニーズに応え、より充実した経済活動の展開を目指しております。会員の皆様のお役に立てれば幸甚に存じます。



会長  
**下地常雄**  
Tsuneo Shimoji,  
Chairman

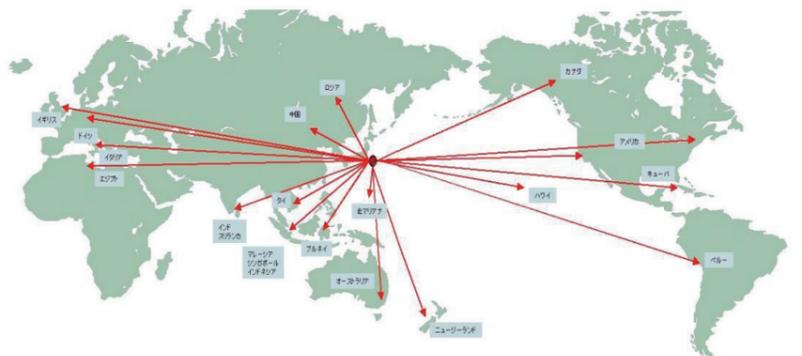
### 『人脈』

人脈は企業競争を生き抜く強力な武器です。

- 御社の発展に必要な専門知識は充分ですか？
- 御社の事業活動の幅を大きく広げませんか？
- 地理的な制約を超え、さらに海外への進出を検討しませんか？

日本経営者同友会では、豊富な経験と知識を備えた多くのスタッフによるサポート及び、会員企業様が相互に発展できるようなチャンスをご提供いたします。また、長年に亘り築いてきた強力な海外の人脈を活かし、グローバルな企業展開のサポートをいたします。

### 国際化時代のビジネス環境に対応するJEPAネットワーク



下記ホームページをご参照ください。

日本経営者同友会  
<http://www.jepa-net.com>

在東京ブータン名誉総領事館  
<http://bhutan-consulate.org>

特定非営利活動法人国連友好協会  
<http://japan-un-friendship-association.org>

